



2020年9月18日

お知らせ

フィリップ モリス ジャパン合同会社

フィリップ モリス ジャパン、9月19日(土)開催のWORLD CLEANUP DAYに協賛

フィリップ モリス ジャパンは、9月19日(土)に江の島をメイン会場に全国で開催される「[WORLD CLEANUP DAY](#)」(ワールドクリーンアップデー、以下WCD)にスポンサーとして協賛いたします。

当社は今、煙のない社会を目指して大きな変革に挑んでいます。喫煙は深刻な疾患の原因であり、喫煙の害を回避する最善の手段は喫煙を始めないこと。そして、喫煙者にとっては禁煙がベストな選択です。

この周知の事実にも関わらず、喫煙者の数は今後もほぼ横ばいで、10億人以上にもなると言われています。禁煙が最善の手段であることに疑いの余地はありませんが、当社は禁煙しない方々のために紙巻たばこよりも良い選択肢を提供したいと考えています。

変革の成功には、事業が社会と環境に及ぼす影響に向き合い、生じる課題に真剣に対応することが不可欠です。その一環として、吸い殻のポイ捨て撲滅を目指すグローバルキャンペーンや、そのほか持続可能な事業展開の推進など、環境保全のために様々な取り組みを行っています。

ここ日本でも、フィリップ モリス ジャパンは、過去数年間に渡るWCDの支援をはじめ、今後も市民のみなさまや関係者のみなさまと協力し、よりサステナブルな社会を実現する取り組みをさらに前進させたいという強い思いから、今年もNPO 法人海さくらとWCDの主旨に賛同し、協賛させていただき運びとなりました。

フィリップ モリス インターナショナルは、2025年までに自社製品から生じるプラスチック由来のゴミのポイ捨てを半減させることを目指しています。2020年7月より、たばこのポイ捨て削減を啓発するグローバルキャンペーン「[World is Not an Ashtray](#)(「地球は灰皿ではありません」)」を展開しており、フィリップ モリス ジャパンは同キャンペーンの日本版ビデオを作成し、9月19日のWCD関連諸サイトを通じて公開します。

フィリップ モリス ジャパンがこれまで日本で行ってきたサステナビリティに関連するボランティア活動などの様子もお伝えしているので、是非こちらのビデオ「[地球は灰皿ではありません](#)」をご覧ください。

###

報道関係者用問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン合同会社
エクスターナル リレーションズ 七尾

TEL 03-3509-1715 | FAX 03-3506-7730 | E-MAIL pmj.press@pmi.com



<参考資料>

「WORLD CLEANUP DAY」(WCD)について

WCD は、2008 年に北欧のエストニアで森林をきれいにしようという呼びかけで開催された市民運動に端を発します。「Let's Do It 2008」と命名されたこの運動は1日で5万人のボランティアを動員し、わずか5時間で国内クリーンアップ運動で1万トンの不法投棄ごみを除去することに成功しました。やがてそれは世界的に広がり、同じ日に地球を一斉にクリーンアップする「WORLD CLEANUP DAY」運動として世界各国に広まり、2019年には180ヶ国と2,120万人が参加し、世界中で集められたゴミの総重量は推計で82,280トンにもなりました。日本は、2018年に初めてこの活動に参加、2019年・2020年は「海と日本プロジェクト」の一環として、日本財団・NPO法人海さくら・WORLD CLEANUP DAY 2020 日本事務局の共催で実施されます。

「海に囲まれた島国である日本、“母なる海”と形容されるように多くの恩恵を私たちに与えてくれている海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子供たちをはじめ全国の人たちが“自分ごと”としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪」に、今回、スポンサーとしてご協力できることをフィリップ モリス ジャパンは大変光栄なことと考え、よりサステナブルな社会を目指すためのこの素晴らしい活動の一助となるべく、情報発信と啓発に努めて参ります。

PMJの企業ビジョン「煙のない社会」の実現に向けて

PMJは、フィリップ モリス インターナショナル(以下PMI)の日本における子会社です。日本で販売されるPMI製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJは1985年に日本で営業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日、全国に約1,900人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で約34.5%のシェアを有する、加熱式たばこ市場を牽引する日本第2位のたばこ会社です(2019年末現在)。企業ビジョンである「煙のない社会」の実現に向けて、PMJは紙巻たばこよりも「リスク低減の可能性のある製品」を主力に事業活動を加速しています。

PMIは、「煙のない社会」の実現を目指し、今後たばこ製品を使い続ける成人喫煙者にとって、公衆衛生の観点からの社会全般と様々なステークホルダーにとって意義があり、科学的に立証された代替製品を提供すべく、紙巻たばこ全てを煙の出ない製品へと切替えることを目指し、たばこ業界においてトランスフォーメーション(変革)を推進しています。PMIは、米国以外の地域において、紙巻たばこ、煙の出ない製品と関連する電子機器・アクセサリ類またその他のニコチンを含む製品の製造と販売を行っています。PMIは、FDA(米国食品医薬品局)より米国内における販売の許可を得ているIQOS(プラットフォーム1)のデバイスとたばこスティックに関してライセンス契約を締結しているアルトリア・グループに出荷しています。

PMIは、依存性がありかつリスクフリーではないものの、紙巻たばこを喫煙し続けた場合と比較してより良い選択肢である煙の出ない新しい製品カテゴリーの構築や科学的立証を企業活動の主軸としています。多岐の専門分野にわたる世界有数の製品開発能力や設備、科学的実証能力を有する研究開発センターにより、PMIは、煙の出ない製品が成人喫煙者の好みや厳しい規制条件に合致することすることを目標としています。煙の出ない製品であるIQOS製品群には、加熱式たばこやニコチンを含むeペーパー(電子たばこ)製品があります。2019年12月31日現在、PMIの加熱式たばこ製品は、IQOSブランドのもと、世界で52の市場における主要都市や全国で展開しており、約970万人の成人喫煙者が喫煙を止め、PMIの煙の出ない製品へ切替えたと推定されています。PMIのウェブサイト(www.pmi.com)およびPMIサイエンス(www.pmiscience.com)をご覧ください。